

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 194 事業名 介護給付等費用適正化事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	介護保険		
	款	地域支援事業費		
	項	包括的支援事業・任意事業費		
	目	任意事業費		
	大事業	任意事業費		
事項	介護給付等費用適正化事業			

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
--------	----------	-----------	------

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	4	社会保障制度の充実
施策	1	社会保障制度の充実
取組	4	介護保険制度の円滑な運営

事業種別	新規	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	介護保険課	山田 喜道	(435-1190)
関連課			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	不適正な給付を削減するだけでなく、介護給付費や介護保険料の増大を抑制し、持続可能な介護保険制度を構築する。	住宅改修及びケアプランの点検業務、医療との突合、縦覧点検業務、介護給付費通知書の送付を行い、介護給付費の適正化に努める。和歌山市の居宅介護支援事業所すべてに対して、ケアプランの提出を依頼し、書類上の点検を行い、結果を居宅介護支援事業所に報告する。また、その中で一部の事例を抽出しケアプランチェックを行う。また、国保連合会による縦覧点検、医療との突合による疑義が示されている明細書の点検、給付適正化システムについても活用を図る。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		住宅改修及びケアプランの点検業務、医療との突合、縦覧点検業務、介護給付費通知書の送付を行う。	住宅改修及びケアプランの点検業務、医療との突合、縦覧点検業務、介護給付費通知書の送付を行う。	住宅改修及びケアプランの点検業務、医療との突合、縦覧点検業務、介護給付費通知書の送付を行う。	住宅改修及びケアプランの点検業務、医療との突合、縦覧点検業務、介護給付費通知書の送付を行う。	住宅改修及びケアプランの点検業務、医療との突合、縦覧点検業務、介護給付費通知書の送付を行う。

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	7,605	5,855	5,706	4,432	6,179	4,993	4,193	3,038	3,276	
伸び率 (%)	-	-	-25.0%		8.3%		-32.1%		-21.9%	
人件費	常勤職員	2,761	2,674	2,761	2,669	2,761	4,482	2,761	5,254	2,761
	非常勤職員	1,518	1,640	1,518	2,664	1,518	2,382	1,518	1,989	1,518
	小計	4,279	4,314	4,279	5,333	4,279	6,864	4,279	7,243	4,279
国庫支出金	3,042	2,341	2,282	1,772	2,471	2,057	1,656	1,200	1,294	
県支出金	1,521	1,170	1,141	886	1,235	1,028	828	600	647	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	1,521	1,170	1,142	886	1,238	911	881	638	688	
一般財源(税等)	1,521	1,174	1,141	888	1,235	997	828	600	647	
所要人数	常勤職員	0.36	0.35	0.36	0.35	0.36	0.59	0.36	0.71	0.36
	非常勤職員	0.74	0.8	0.74	1.06	0.74	0.94	0.74	0.94	0.74
主な予算内訳	介護給付費通知郵送料 2,100千円 国保連合会への縦覧点検処理手数料 600千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	ケアプランチェック件数					年度目標値		3	12	12
						実績値		3	12	12
	単位	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度				
						年度目標値				
成果指標						年度目標値				
						実績値				
	単位	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度				
						年度目標値				
						実績値				
						年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性(担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	介護サービスを利用する際に基礎となるケアプランをチェックすることで、適正なサービス利用となるよう指導を行うため、今年度非常勤の居宅介護支援専門員を雇用し、より充実した体制とした。
「見直し」「改善」案 ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載	